

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No.	04	事例No.	02	依頼者	扶桑町役場産業建設部 産業環境課	実施場所	扶桑町立柏森小学校
実施対象	柏森小学校 4 年生全員（3 クラス、117 名）						
実施日時	平成 30 年 5 月 15 日（火）9 時 00 分～10 時 00 分（1 時間）						
テーマ	地球温暖化問題とゴーヤ苗の植え付け						

●依頼内容

扶桑町が実施している「緑のカーテン事業」の一環として、町内 3 校でのイベントを開催。そのため各校小学 4 年生を対象に、地球温暖化問題をテーマにした出前講座と、ゴーヤの苗植えの指導を行ってほしい。

●講師：堀田英夫氏：愛知県地球温暖化防止活動推進員

扶桑町在住。小学校でストップ温暖化教室の出前講座を実施。

●授業の内容

座学	地球温暖化のお話	パネルを使った説明で、温暖化の原因、影響、緑のカーテンの効果などについて学びました。	30 分
実習	ゴーヤの苗植え	はじめに、町職員が、レジ袋削減の取組みによって苗が購入されたことを説明しました。	30 分
		講師の指導のもと、校庭の花壇の土に、生徒たちの手で苗植え用の穴をあけ、苗を植えて水やりを行いました。	

●授業の様子

講師は地球温暖化のお話をする中で、その都度、児童たちに質問を投げかけていました。児童たちに考えてもらいながら、また、双方向でのやりとりで授業を盛り上げながら、地球温暖化についてのお話を進めていました。温暖化は本当に止まるのかという興味深い質問もあり、大人の責任を改めて考えさせられる一幕もありました。

地球温暖化のお話



花壇でゴーヤの苗の植え付け

